

高温と斑点米カメムシの対策を！

- 高温（日中 30℃以上、夜間 23℃以上）が続くと、登熟不良や玄米品質の低下の原因となります。高温時は、水をこまめに入れ替えましょう。
- 出穂は平年より早まっています。穂揃期 1 週間後の斑点米カメムシ類の薬剤防除も平年より早まりますので、散布時期にご注意ください。

1 出穂状況について

- ・ 出穂期が平年より早まる見込みです。
- ・ 今後斑点米カメムシ類の薬剤防除や刈取りに向けて、早めの準備をしましょう。

表 1 生育ステージについて（幼穂形成期、出穂期の予想） 品種：いわてっこ

市町村 地区	幼穂形成期（月/日）			出穂期（月/日）（予想）		
	R 7	R 6	平年値	R 7	R 6	平年値
洋野町宿戸	7/7	7/6	7/10	(8/1~4)	7/29	8/4
洋野町阿子木	7/5	7/3	7/8	(7/27~29)	7/26	8/1
久慈市大川目	7/7	7/8	7/10	(7/29~31)	7/30	8/3
野田村泉沢	7/10	7/12	7/14	(8/1~3)	8/4	8/7

※出穂期は全茎数の 40~50%が出穂した日

出穂期は、アメダス地点の日平均気温データを使用し、いわてっこの出穂予測式を用いて計算した参考値で、実際には高温のためさらに早まる可能性があります。

2 出穂後の水管理について

- ・ 高温時の水管理は間断かんがいを基本とし、水の入替頻度を高めて、水温、地温を下げるとともに、根に酸素を与えて活力維持をはかります。
- ・ 入水は夜間（夕方から朝方まで）にかんがいを実施すると効果が高まります。

3 斑点米カメムシ類の薬剤防除について

- ・ 斑点米カメムシ類の発生量は「多」の予報です（7月15日付け 注意報発表）。
 - ア 粉剤、液剤による薬剤防除
散布時期は、穂揃期 1 週間後と穂揃期 2 週間後の 2 回です。
（穂揃期 1 週間後にスタークル剤を使用した場合、2 回目は穂揃期 3 週間後になります。）
 - イ 粒剤による薬剤防除
散布時期は、穂揃期～穂揃期 1 週間後の 1 回です。
*穂揃期：穂が少しでも見えた茎が、ほ場全体の 90%に達した時期。
（出穂期から 3 日後程度。）

※ 刈取時期については、8 月下旬にお知らせします。

- ・ このような情報をタイムリーに入手することに役立つ、メール配信をしています。
- ・ 右の二次元コードからメール作成を開き、必要事項を記載の上、お申し込みください。



お問合せ先：JA新しいわて久慈営農経済センター（TEL：0194-52-1318）
久慈農業改良普及センター（TEL：0194-66-9683）
（E-mail：ce0026@pref.iwate.jp）